

貸借対照表

平成 24 年 9 月 20 日現在

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
	千円		千円
【流動資産】	【 290,614】	【流動負債】	【 343,123】
現金及び預金	29,471	支払手形	181,269
受取手形	992	設備支払手形	787
売掛金	197,178	買掛金	57,486
製品	33,988	1年以内返済長期借入金	2,605
原材料	22,302	未払金	56,191
貯蔵品	1,915	未払費用	6,122
前払費用	256	設備未払金	1,148
立替金	250	預り金	1,091
繰延税金資産	6,058	未払法人税等	26,008
貸倒引当金	△1,800	未払消費税等	1,358
【固定資産】	【 72,195】	賞与引当金	9,052
(有形固定資産)	(53,679)	【固定負債】	【 12,264】
建物	29,761	長期未払金	2,970
構築物	1,448	資産除去債務	9,294
機械装置	21,128		
工具器具備品	1,340	負債の部合計	355,388
(無形固定資産)	(3,968)	純資産の部	
電話加入権	150	【株主資本】	【 9,277】
ソフトウェア	3,817	(資本金)	(38,000)
(投資その他の資産)	(14,547)	資本金	38,000
投資有価証券	7,345	(利益剰余金)	(△28,722)
差入保証金	6,853	繰越利益剰余金	△28,722
繰延税金資産	348	【評価差額金】	【 △1,855】
		株式等評価差額金	△1,855
		純資産の部合計	7,421
資産の部合計	362,810	負債及び純資産の部合計	362,810

個 別 注 記 表

自 平成 23 年 9 月 21 日

至 平成 24 年 9 月 20 日

I. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 資産の評価基準及び評価方法

① 有価証券の評価基準及び評価方法

ア 時価のあるもの

決算日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入法によって処理し、売却原価は移動平均法により算定しています。）

② 棚卸資産の評価基準及び評価方法

評価基準は原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）によっております。
製品・原材料は総平均法、貯蔵品は最終仕入原価法

2. 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産

法人税法の規定による定率法、ただし、建物の一部は定額法

無形固定資産

自社利用のソフトウェアについては、社内における見積利用可能期間（5年）に基づく定額法

3. 引当金の計上基準

貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により計上するほか、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しています。

賞与引当金

従業員の賞与支給に備えるため、支給見込額及びそれに対応する社会保険料の会社負担分を計上しています。

4. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

① リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転するもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっています。

② 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式によっています。